

【プロジェクト名】教師力・学校力向上に資する実践研究

1 プロジェクトの目的・概要

佐賀県教育センターの研究の質の向上を図るとともに、教育センターの研究成果を有効に活用して、佐賀大学教員養成課程における教員志望学生の育成の充実を図ることを目的として、連携・協力事業「教師力・学校力向上に資する実践研究」に取り組む。本プロジェクトを通して、佐賀県の教師力、学校力の向上に資することとする。取組としては、教育センター研究調査事業で取り組んでいるプロジェクト研究等に対して、佐賀大学教育学部教員による専門的な見地からの助言を受けるとともに、佐賀大学教員養成課程の講義等での教育センター研究成果の有効な活用を図る。

2 令和3年度の実施実績

教育センターが令和3年度に取り組んだ研究と連携した佐賀大学教育学部教員

教育センターの研究	研究担当所員	連携する佐賀大学教員
小学校算数科教育	○光吉 智宏 新 真一	大学院学校教育学研究科 教授 米田 重和

3 令和4年度の実施計画

(1) 組織

教育センターが令和4年度に取り組む研究のうち、佐賀大学教育学部教員と連携する研究

教育センターの研究	研究担当所員 (○主担当)	連携する佐賀大学教員
小学校算数科教育	○峯 慶太 光吉 智宏	大学院学校教育学研究科 教授 米田 重和
中学校音楽科教育	○福元 あき	教育学部 教授 今井 治人
小学校図画工作科教育	○井手 美和	教育学部 教授 栗山 裕至
中学校美術科教育	○古川 秀明	
教育相談	○原田 利香 野田 裕之 姉川 良知 坂口 百恵 梶原 貴子 大坪 諒子 佐志 典昭 森 鮎美 市原佳代子 原 愛子 中原 洋子	大学院学校教育学研究科 准教授 下田 芳幸

(2) 連携の進め方 (図参照)

月	研究の段階	連携方法・内容			
		教育センター	【教師力・学校力向上に資する実践研究】	佐賀大学	
4月	問題提起・課題	研究要項作成	訪問、今後の日程調整等	教育センター研究成果の有効な活用(講義等)	
5月	設定する	研究計画策定	研究の方向性の説明		
6月	方向性を策定する	理論研究	研究の方向性についての助言		
7月	コンテンツ作成	コンテンツ作成	コンテンツの内容についての説明		
8月	コンテンツ作成		コンテンツの内容についての助言		
9月	コンテンツ作成				
10月	研究のまとめ	授業実践	Web原稿等の提示		
11月		コンテンツ配信			
12月		Webページ作成	まとめや次研究への助言		
1月					
2月	成果と課題を分	次研究に向けた調			
3月	析する	査・分析			

図 教育センターの研究に関する佐賀大学との連携計画

ア 研究の方向性を策定する段階で、教育センター研究担当所員は、連携を依頼した佐賀大学教育学部教員を訪問し、方向性について説明した上で、助言を受ける。

イ コンテンツを作成・配信する段階で、教育センター研究担当所員は、コンテンツの内容について説明した上で、助言を受ける（電子メール等でのやり取りでもよい）。

ウ 研究のまとめの段階で、教育センター研究担当所員は、コンテンツの内容について説明した上で、助言を受ける（電子メール等でのやり取りでもよい）。

エ 佐賀大学教育学部教員は、佐賀大学教員養成課程の講義等で、その有効性が認められると判断した場合は、教育センターの研究成果の活用を図る。講義等に教育センター研究担当所員を招聘することも可能である。教育センター研究担当所員は、依頼に応じて、講話、資料提供、実践発表等を行うこととする。